

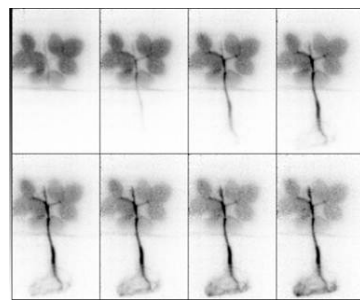
第16回 C-Bioセミナー

RI・イメージング技術・農業・環境

日時：平成24年11月14日(水)
16:10~17:40

場所：ゲノムクス研究棟2階セミナー室

講師 藤巻 秀 日本原子力研究開発機構
RIイメージング研究グループリーダー
尹 永根 日本原子力研究開発機構
RIイメージング研究グループ博士研究員



第16回C-Bioセミナーは「RI・イメージング技術・農業・環境」をテーマに開催します。講師の先生方は「NaI(Tl)スペクトロメーターでセシウム134と137を個別に定量する簡便な手法」を開発した日本原子力研究開発機構のRIイメージング研究グループに所属しています。この研究グループでは放射性核種の画像化技術を応用した植物研究を行っています。

食品放射能測定システム

CAN-OSP-NAI

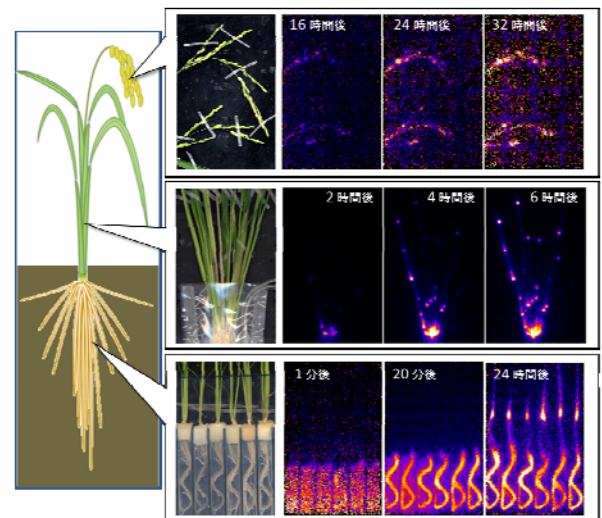
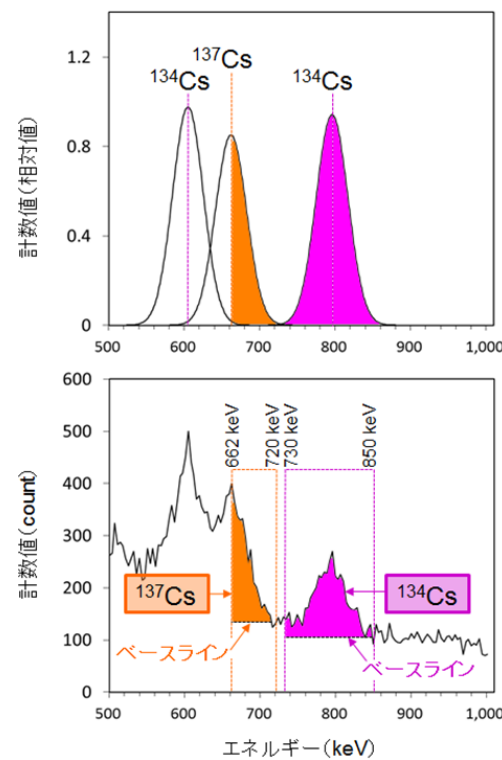
厚生労働省通知の食品中の放射性セシウムスクリーニング法に対応

食品放射能測定システムは、食品に含まれる放射能を簡便に測定するというコンセプトで開発されました。一般食品に対する新基準値でのスクリーニング法に対応しており、測定下限値：25Bq/kg(基準値の1/4以下)を約15分で測定できます。
(※マリネリ容器使用時、測定時間は環境により変動します)



特長

- 測定試料はスクリーニング法に記載された一般食品(飲料水、牛乳、乳児用食品以外)が対象
- 平底容器(V-11)またはマリネリ容器にサンプルを入れ、測定ボタンを押すだけの簡単操作
- ^{131}I 、 ^{134}Cs 、 ^{137}Cs の3核種を同時に測定可能



宇都宮大学では食品衛生法第11条第1項に基づく食品中の放射性物質に関する新たな基準値に対応した食品内の放射性セシウムスクリーニングを行える食品放射能測定システムを新たに導入しました。セミナーでは新しく導入した測定装置に関する話題も扱います。奮ってご参加ください。

問合せ先：宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターアイソトープ利用部門 平田慶
電話：028-649-5409 メール：hiratak@cc.utsunomiya-u.ac.jp